



【エジプト暦】 エジプトではナイル川が毎年同じ時期に増水し、大洪水を起こしました。沿岸の住民はこの洪水の時期を正確に予知して、安全な場所に避難する必要がありました。また、この洪水は肥沃な土を運び人々に恵みを与えました。

人々はその洪水が起こる日を知るための目印を天体に求めました。その結果、おおいぬ座のシリウスが、日の出の直前に東の空に姿を現す時が、洪水の開始時期と一致することを発見したのです。シリウスの出現は夏至（今の6月22日頃）と一致します。これにより、夏至を始まりとし、1年を12ヶ月、365日とする暦が紀元前2900年前後には誕生しました。

【ローマ暦】 古代ローマでは、1年が10ヶ月という暦を使用していました。1年はマルチウス（春分の頃）に始まってデッケンベル（冬至の頃）に終わりました。冬の2ヶ月間は計算されない冬眠の期間でした。古代ローマの1年は304日しかありませんでした。

【ユリウス暦】 ローマの終身独裁官に就任したユリウス・カエサル（ジュリアス・シーザー）（BC100～44）は、当時エジプトで採用されていた暦法を採用しました。ところが1年は365日で、12では割り切れない。どうしても30日と31日を約半々に配置しなければならぬ。そこでユリウスは、それまでのローマ暦に従って春分を含むマルチウスを最初の月として12ヶ月の暦をつくり、日数を次のように決めました。

奇数番目の月は31日、偶数番目の月は30日、ただし最後の12番目月は29日とする。その後、彼は、冬至から始まる11番目の月を年の初めの1月と改めました。この結果、以前1年の最後の月であった12番目月が2番目＝2月になりました。この暦はユリウス暦と呼ばれ、ローマ帝国の正式な暦として採用されました。これに週法が取り入れられるようになったのは、キリスト教が普及するようになってからです。

このあと皇帝に着いたアウグストゥスは、自分と同じ名の月（8月）が30日しかないのは「けしからん」として31日に改めさせ、それ以降を9月（30日）、10月（31日）、11月（30日）、12月（31日）と改めました。すると1年が366日になったので、いっそのこと昔の年の終わりだった2月から、もう1日けずろうと言うことになり、2月を28日にしてうるう年だけ29日としました。

【グレゴリオ暦】 ユリウス暦では1年の長さが365.25日とされていますが、1年の実際の長さは365

日5時間48分46秒(365.2422日)なので、これでは4年間に一度うるうを設けても、 $1 - (0.2422 \times 4) = 0.0312$ 日の不足、400年では3.12日不足することになります。

そこで、1582年、ローマ法王グレゴリー13世はユリウス暦を改革し、西暦年数が4で割れる年をうるう年とするが、新たに100で割り切れて400で割り切れない年はうるう年にしない、という規定を付け加えたのです。たとえば、1600年はうるう年、1700年は平年、1800年は平年、1900年は平年、2000年はうるう年としました。これが今日私たちが使っている暦です。こうしてもなお400年で0.12日不足することになり、1万年では3日不足することになります。

このほか、今回はアメリカのエリザベス＝アケリスが提唱した「世界暦」、日本で使用されている「旧暦」及び「二十四節気」（にじゅうしせっき）、「十干（じっかん）・十二支（じゅうにし）」、「1924（大正13）年以降120年間の西暦・日本年号・干支」「旧暦における月の異名」を資料として付け加えました。

【世界暦】 アメリカのエリザベス・アケリスが世界暦を提唱（1930年）、1年を4つの季に分ける。1季は3ヵ月とし、31日、30日、30日とする。、曜日は今のままとする。、平年に1日、うるう年に2日の無曜日を設ける。

1月、4月、7月、10月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

2月、5月、8月、11月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

3月、6月、9月、12月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

平年は12月31日を、うるう年は6月30日を、無曜日（世界日）とする。戦前に国際連盟、戦後は国際連合で論議されたが、採用にはなりませんでした。

【旧暦】 1ヶ月 = 平均29.530589日。1ヵ月を29日(小の月)と30日(大の月)を交互に置く。1年の日数は354日。2~3年で1ヵ月不足が生じる。その時は1年を13ヵ月とする(うるう月)。2月に春分の日を含み、できるだけ太陽歴から離れすぎないようにする。

農作業などの目安のために「二十四節気」があります。平成22年の二十四節気は次のとおり。

小寒(寒の入り)1月6日。大寒(1年で最も寒い季節)1月20日。立春(春立つ日。八十八夜、二百十日などはこの日から起算したもの。前日が節分)2月4日。雨水(草木の芽が出始める季節)2月19日。啓蟄(けいちつ)(冬籠りをしていた虫が穴から出てくる季節)3月6日。春分(春彼岸の中日。太陽はほぼ真東から出て、ほぼ真西に沈む。昼夜はほぼ同じ時間になる、彼岸の中日として先祖を祀る)3月21日。清明(せいめい)(太陽の黄径が15度に達した日、万物清く陽気になる季節)4月5日。穀雨(こくう)(百穀を潤す雨の降る季節)4月20日。立夏(夏が始まる季節)5月6日。小満(しょうまん)(麦の収穫の季節)5月21日。芒種(ぼうしゅ)(稲の植付の季節)6月6日。夏至(1年で最も昼が長い日)6月22日。小暑(梅雨明け間近の季節)7月7日。大暑(1年で最も暑い季節)7月23日。立秋(暑さが峠を越して秋を迎える季節)8月8日。処暑(暑さも止まり、残暑の季節)8月23日。白露(はくろ)(夜間気温が低下して大気中の水蒸気が露となって草葉につくようになる季節)9月8日。秋分(秋彼岸の中日。太陽はほぼ真東から出て、ほぼ真西に沈む。昼夜はほぼ同じ時間になる、先祖を敬い、亡くなった人々を偲ぶ日)9月23日。寒露(かんろ)(露が冷たく感じられる季節)10月9日。霜降(そうこう)(朝夕の気温が下がり、霜がおり始める季節)10月24日。立冬(冬が始まる季節)11月8日。小雪(しょうせつ)(雪が降り始める季節、穏やかに晴れて暖かくなる日を小春日和という)11月23日。大雪(たいせつ)(雪が多い季節)12月7日。冬至(1年で最も昼が短い日)12月22日。

農作業のためにはさらにこれを三分(初候、二候、三候)したものが使用された。

### 【十干(じっかん)・十二支(じゅうにし)】

この世の根源は、木(もく)、火(か)、土(ど)、金(ごん)、水(すい)の5つの要素から成り立つ(五行説)。宇宙の現象は陰と陽による(陰陽説)。

十干(じっかん)は、(甲=こう)木の兄=きのえ。(乙=おつ)木の弟=きのと。(丙=へい)火の兄=ひのえ。(丁=てい)火の弟=ひのと。(戊=ぼ)土の兄=つちのえ。(己=き)土の弟=つちのと。(庚=こう)金の兄=かのえ。(辛=しん)金の弟=かのと。(壬=じん)水の兄=みずのえ。(癸=き)水の弟=みずのと。

十二支(じゅうにし)は、子(鼠)、丑(牛)、寅(虎)、卯(兎)、辰(竜)、巳(蛇)、午(馬)、未(羊)、申(猿)、酉(鶏)、戌(犬)、亥(猪)

### 十干と十二支の組み合わせ

1、甲子(こうし) = きのえね。2、乙丑(おつちゅう) = きのとうし。3、丙寅(へいいん) = ひのえとら。4、丁卯(ていぼう) = ひのとう。5、戊辰(ぼしん) = つちのえたつ。6、己巳(きし) = つちのとみ。7、庚午(こうご) = かのえうま。8、辛未(しんび) = かのとひつじ。9、壬申(じんしん) = みずのえさる。10、癸酉(きゆう) = みずのととり。11、甲戌(こうじゅつ) = きのえいぬ。12、乙亥(おつがい) = きのとひ。・・・・・・・・・・60、癸亥(きがひ) = みずのとひ。で60通り。一巡した60年を還暦という。

### 【干支を冠した事件名など】

\* 乙巳の変(いっし)、中大兄皇子が蘇我入鹿を殺し、蘇我蝦夷(えみし)は自殺した。

\* 庚午年籍(こうごねんじゃく)、日本で最初に作られた全国的な戸籍。

\* 戊戌夢物語(ぼじゅつ)、1838年に高野長英が著した本。日本を取り巻く国際情勢を述べ、外国船の打ち払い政策を厳しく批判した。

\* 戊辰戦争(ぼしん)、明治維新の時期1868年から16ヵ月にわたって幕府派と討幕派との間で戦われた内戦。

\* 辛亥革命(しんがひ)、1911年中国で孫文らが清朝を倒した革命。

\* 甲子園球場、1924年兵庫県西宮市に作られた球場、阪神タイガースのホームグラウンド、高校球児の聖地。

### 【古典における月の異名】

1月 = 睦月(むつき)、2月 = 如月(きさらぎ)、3月 = 弥生(やよひ)、4月 = 卯月(うづき)、5月 = 皐月(さつき)、6月 = 水無月(みなづき)、7月 = 文月(ふみづき)、8月 = 葉月(はずき)、9月 = 長月(ながつき)、10月 = 神無月(かんなづき)、11月 = 霜月(しもづき)、12月 = 師走(しわす)。

(もりおかクラブ:2010年11月例会卓話)